



「日本ササエ会」のメンバーが越の原を訪れ、ササエを見て、「おれどろ！」と喜びの声をあげていました。嬉しかった。



六水耕田会 卷一

6月18日、宍戸町のササユリ群生地を守る新たな団体「宍戸ササユリ会」が発足した。これまで活動してきた「越後の原ササユリ保存会」の後を発展的に受け継ぎます。宍戸町の花であるササユリの群生地は、富山や沖波などにもあり、その保全や育成に取り組んでいくことになりました。

この日は、金沢市に事務局のある「日本ササユイ会」の村井加代子会長ら25人から穴水町を訪れ、越後の景観視察やトイレでの交流会に臨みました。穴水町の会員の他、輪島市のボランティア団体の岩川教さんも参加しました。

「穴水廿廿工」会組織

会長 道本 巖夫 (冲波) 副会長 石井 正司 (岡山)
 事務局 渡井 元之 (媛) 中前 和人 (川崎)
 理事 池上 悟 (岡山) 膳井 寛 (媛)
 滝川 敏明 (媛) 幸崎 久史 (媛)
 相談役 宮崎 高祐 (副町長)

相談役 宮崎高裕 (副町長)

旧能登翰

運賃表板

旧能登鉄道の廃駅「甲斐」のホーム待合室
にあった運賃表示板が無くなっているのが
わかりました。1月にはあ



たゞし、 α と β は
 α と β は
 α と β は



この「甲斐」は 甲斐住の 島崎光典さん
が 除草や清掃など 懸命に世話をしてく
います。さらに保ちこしている中で、じない出
来事に悔いを感じさせていました。

穴水井より金、金受葛集、事務局の七六、一五六一、二五二（穴水井まで）

6月議会

第3回 6月定例会 一般質問(6月13日)

6月13日、4月の統一地方選挙後初めての議会、6月定例会一般質問が行われました。

市民の信託を受けた新議員が、また公約を果たす大事な場面です。



本議会では2021年3月議会以来となる8名の議員が一般質問に立ちました。県内では先頃、議長を含めて全議員が一般質問に立つ議会もありました。今後も議員としての責任と権利を市民のため、市のために行使してほしいものです。特に責任を果たさばい議員には厳しい目を向けるのが、選んだ市民の責任でもあります。



各議員の一般質問

小竹政一議員 「災害対策」「水道管理」について

宮本浩司議員 「新型コロナウイルスと関係する学校への対応」「デジタル化と学校の対応」について

田園都市国家構想総合戦略について

大中正司議員 「洪水時の放置型対策」「おちよ100円バス」「地域公共交通計画」について

伊藤繁男議員 「総合戦略」「企業誘致」「教育行政」「行政サービス格差対策」「育児用品のリース」について

小泉明議員 「行政オンライン化の成果」「空き家問題」「人事評価」「自転車・ルール指導・ヘルメット」について

小坂孝哉議員 「学校統合」「危険空き家対策」について

山本祐孝議員 「学校統合」「市中心市街地の将来目標整備」「主要地方道能登川線・岩手橋地区間整備」について

湯口かづ議員 「町の経済振興策」「児童公園安全確保」「緊急時子育て支援」「総合病院産科の今後」について



6月17日、トキ放鳥に向けて、能登トキワークショップセミナー文化センターで開催されました。石川県立大学の上野祐介准教授が基調講演を行い、宮下源一郎ワークショップ代表が活動報告をし、トキ放鳥に向けて気運の高まりに期待を寄せました。

とにかく、町全体の気運が盛り上がり、実現困難です。

街の御意見

質問も答弁もとにかく無駄な修飾語、余談が多すぎる。何を問うているのか、何を答えているのかよくわからない。市民が聴いている、観ているというのを考えるべき。市民にわかりやすく、市民が関心を持てるようにすべき。(T)

(時間は無駄に長い)